

4.6 地下水連続観測結果

4.6.1 観測期間の孔内水位特性

孔内水位変化図を図 4.6.1～4.6.4 に示し、地下水位連続観測データシートは巻末に添付した。

なお、孔内水位は当日 9 時の水位を表し、降水量 (mm) は日雨量 (前日の午前 9 時から当日の午前 9 時の間に計測された 1 日の総雨量) 積雪深 (cm) は残留積雪量を表している。

(1) 孔内水位変化

観測期間 (平成 14 年 1 月 10 日～3 月 16 日) における孔内水位の最低水位や最高水位を表 4.6.1 に示す。

上記観測期間における、各孔の最高水位は、3 月 16 日の融雪時に見られ、最低水位は、観測当初の降雪時に見られた。

表 4. 6. 1 孔内水位変動範囲一覧表

観測孔	最高水位 (EL.m)	最低水位 (EL.m)	備 考
No.9	438.17	437.44	ストレーナー区間：ローム・凝灰角礫岩
No.11	418.98	417.65	ストレーナー区間：凝灰角礫岩
No.13	424.88	423.75	ストレーナー区間：降下火砕物
No.15	372.94	371.90	ストレーナー区間：凝灰角礫岩

(2) 降雨・積雪深との相関関係

孔内水位と降雨とを対比した図は、図 4.6.1 に示したとおりである。

観測期間における、No.9 孔の水位は降雨および積雪深との相関が明瞭ではないが、3 月 13 日前後からの気温の上昇に合わせて水位が上昇している。その他の観測孔では降雨や積雪深との弱い相関が認められる。

この違いは、観測地点における集水面積の大きさやストレーナー区間の地質の違いなどが複雑に影響しているものと考えられる。

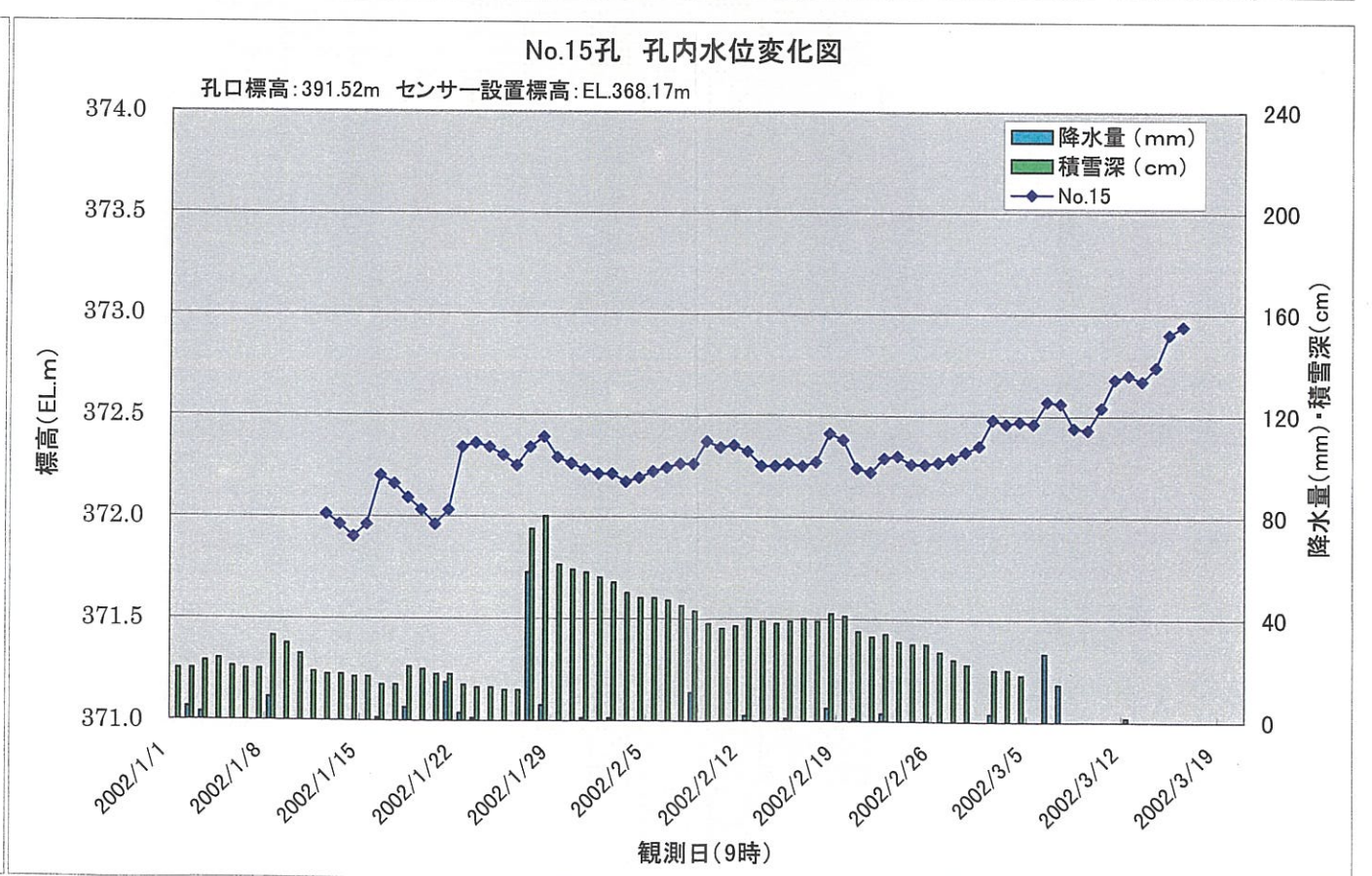
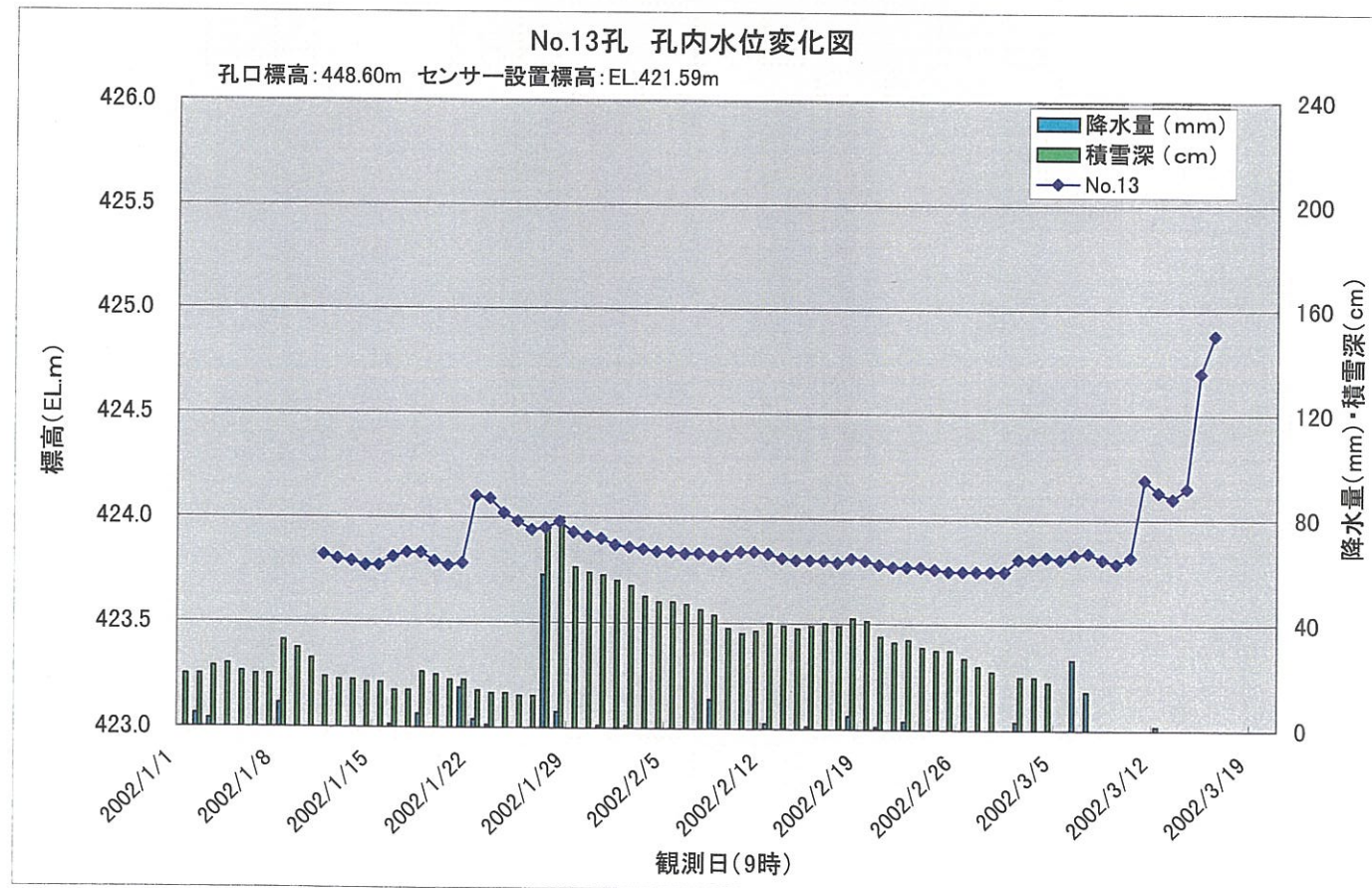
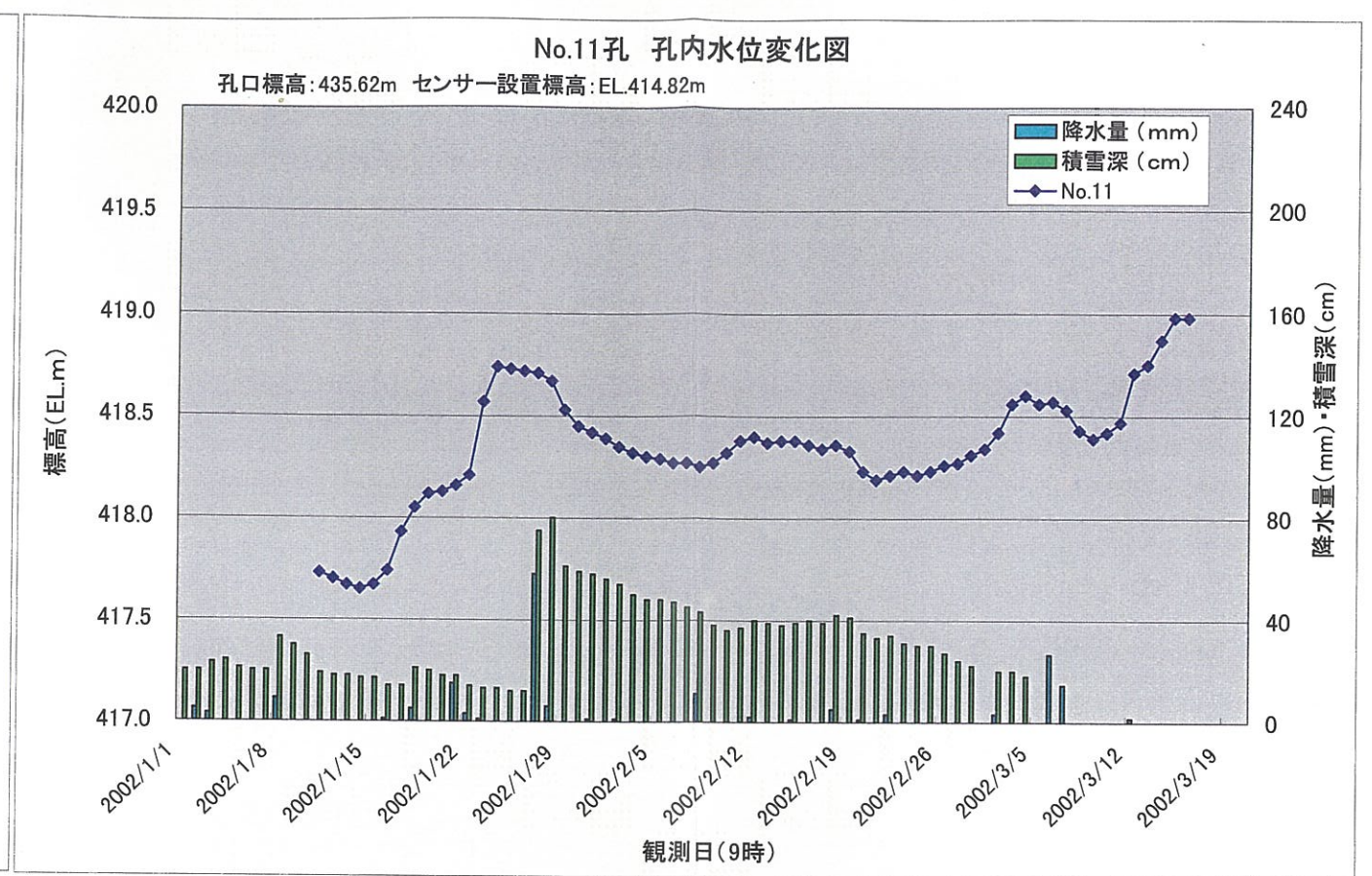
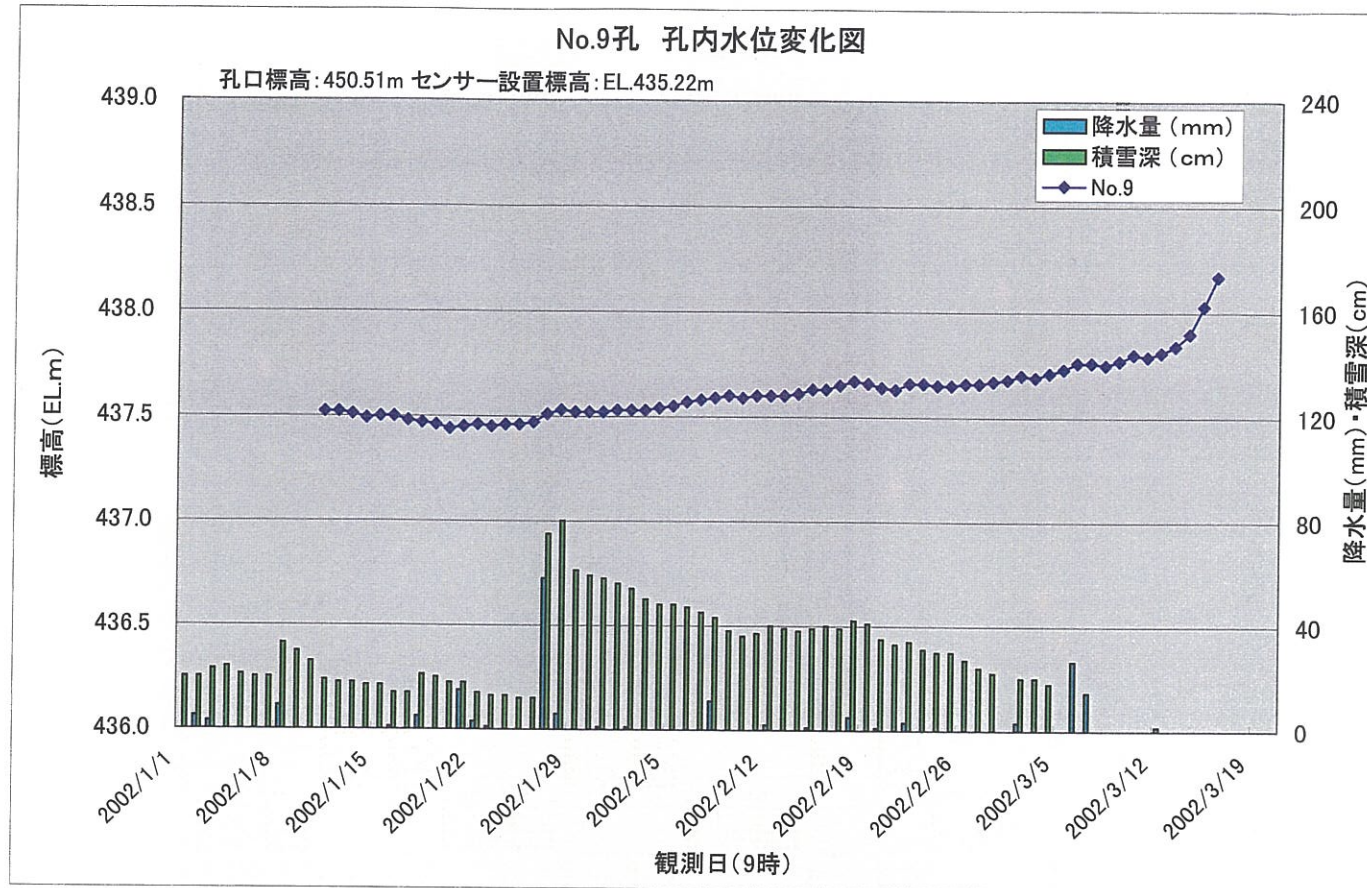


図4. 6. 1 No.9・No.11・No.13・No.15孔 孔内水位変化図